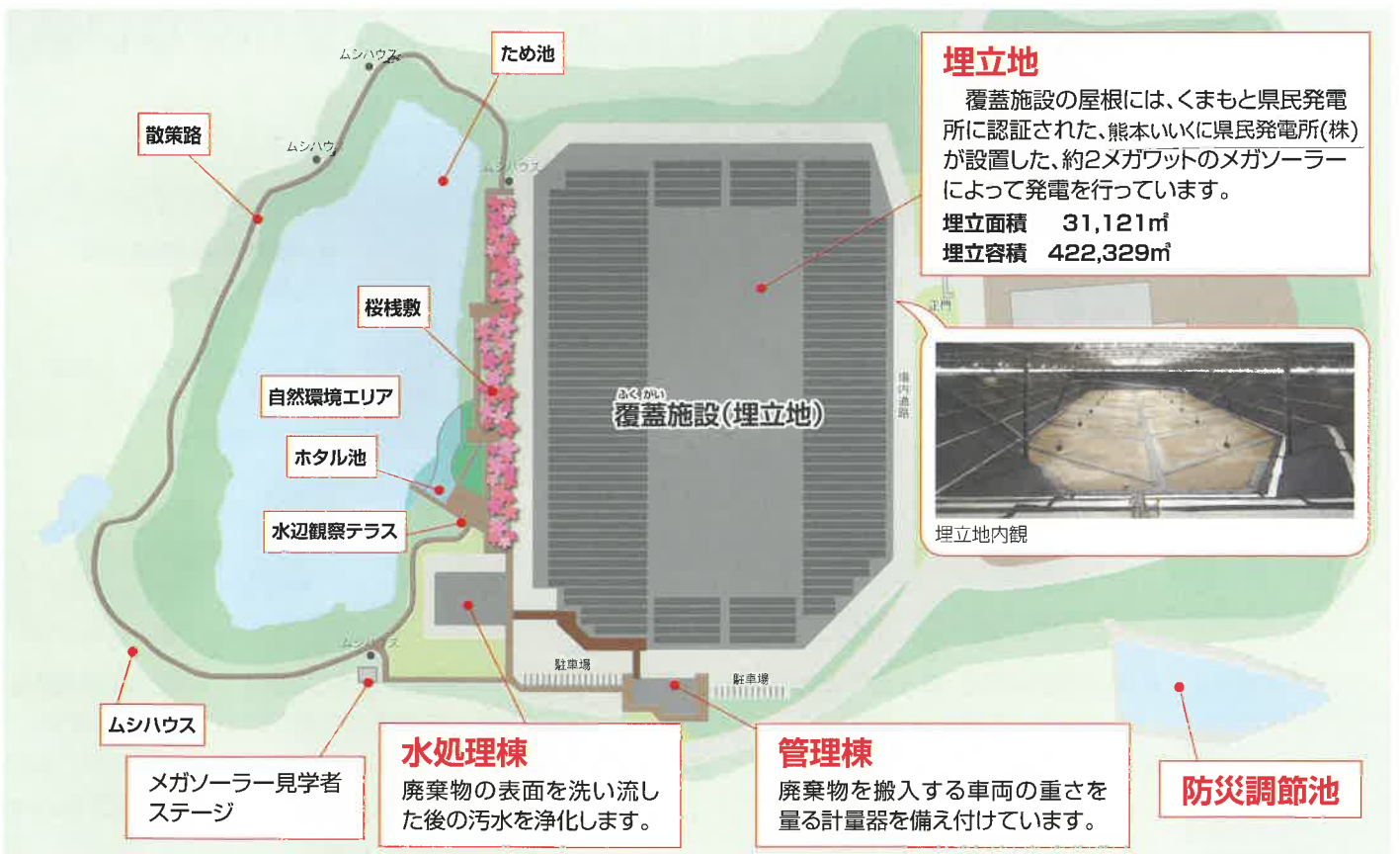


# 「エコアくまもと」が完成しました。

## 全国モデルとなるような安全な施設として

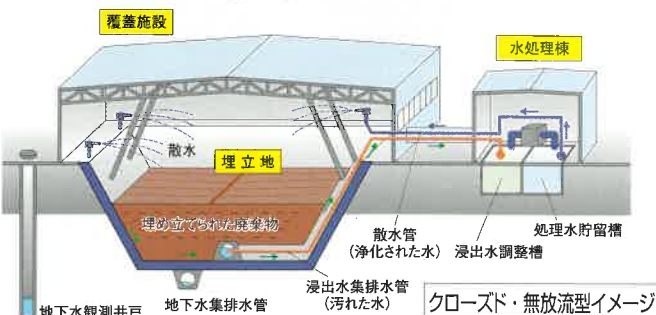
玉名郡南関町に公共関与管理型最終処分場「エコアくまもと」が完成し、平成27年12月から供用開始しました。この施設は、県が中心となって整備を進めた公共関与による最終処分場で、公益財団法人熊本県環境整備事業団が施設の建設、運営及び管理を行っています。

また、埋立地を覆う「覆蓋施設」と呼ばれる建物は、高い耐震性・耐風性を備え、埋立地は、多重の遮水構造や高度な漏水検知システムなどによって、安全性を極限まで追求しています。



### 特徴その1 ~クローズド・無放流型~

埋立地を屋根と壁で覆うことで、廃棄物の飛散、悪臭の拡散などを防止しています(クローズド)。埋立地において人工散水を計画的に行い、廃棄物の表面の汚れや有害物質などを洗い流します。洗い流された後の汚水は、水処理棟で浄化した後、再び埋立地の人工散水に利用することで、河川等へ放流しません(無放流型)。このため、周辺地域の環境への影響を極力抑えることができます。



### 特徴その2

#### 多重の遮水構造

埋立地の底面部と法面部は、遮水構造により外部への漏水を防止しており、国の基準を上回る多重の遮水構造となっています。また、高精度の電気式漏水検知システムが、2重の遮水シートの両方に設置されていて、万が一、遮水シートが破損した場合も、1mの範囲内で漏水箇所を検知できます。

